

県と公社等の委託事業に係る随意契約状況調査票(平成28年度)

部等名 文化観光スポーツ部
課名 文化振興課

公社等名 公益財団法人沖縄県文化振興会

No.	委託業務名	委託業務内容	契約額(千円)	随意契約の方法			随意契約の理由	再委託の有無	再委託の理由	県の担当課
				1者随契	相見積	プロポーザル				
1	文化活動実態調査	沖縄県の文化関連情報を広く活用し、相互的に情報発信する仕組みをつくり、市町村や文化関連団体等とのネットワーク体制の構築を図る。	12054	○			当該団体は、各市町村や各団体等の情報を公平・中立的立場で収集し、発信することが出来る公的性質の強い団体であるため			文化振興課
2	沖縄文化活性化・創造発信支援事業	本県の多様で豊かな地域の伝統芸能・文化の保存継承、芸術文化の創造発信を行うため、文化資源を活用した芸術文化の創造発信に取り組む団体等を支援する。 また、「沖縄版アーツカウンシル機能」として文化芸術の専門員を活用し、補助事業の成果の充実及び効果的な支援を行う。	29,235	○			本事業は、補助金交付の対象となる事業を選定するとともに、補助事業の推進に係る助言指導等を行うものであることから、公金としての補助金の取扱いに熟知し、中立公平な立場から、多種多様な文化芸術の専門的知識を活かした事業選定や助言指導を行うことが求められる。文化振興会は、文化行政施策に関するノウハウを有しており、かつ、県内の伝統芸能や文化芸術の多種多様な分野において広いネットワークを有し、中立公平な立場から、これらの分野に専門的な助言指導を行うことができる団体である。 また、本事業は、沖縄版アーツカウンシル機能モデルの活用を図ることを重要な取り組みとしており、文化振興会は、文化芸術の専門員を配置し、補助事業の助言指導及びPDCA評価をこれまで継続して実施していることから、アーツカウンシル機能モデルの検証・改善が可能な団体である。 以上のことから、本事業を実施できる団体は文化振興会に特定されるため、委託先として選定した。			文化振興課

3	琉球政府文書デジタル・アーカイブズインターネット公開業務	デジタル化された琉球政府文書をインターネット公開システムへ掲載し、同システムの運用管理を行う。	63,828			○	プロポーザル方式により公募を行い、選定委員会による審査において最も高得点であったため選定した。	○	ネットワークシステムの改修等については、履行にあたり特殊な技術能力を必要とするため。	総務私学課
4	琉球政府文書(陸軍兵籍簿)のデジタル化及び事前補修業務委託	沖縄県公文書館所蔵の琉球政府文書(陸軍兵籍簿)のデジタル化及び簡易補修を行う。	4,925	○			劣化の著しい琉球政府文書(陸軍兵籍簿)の取扱いには専門的知識を要し、沖縄県文化振興会はその保存状態を熟知しており、円滑な執行が可能であるため。			総務私学課
5	沖縄県公文書館の管理業務	平成28年度の沖縄県公文書館の管理業務を実施する。	237,512			○	指定管理者を公募し、指定管理者制度運用委員会の審査を経て、契約を締結した。	○	常駐警備や清掃などの施設管理等のため。	総務私学課
合計			347554	3	0	2		2		